

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

新 賀

日付 平成 21年 3月31日
特定非営利活動法人

評価機関名

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

きのこグループの中で開設から8年目を迎えたこのグループホームは認知症ケアについては全てを堪能しているので、今回訪問して少し視点を変えてグループホームの良さを見ることにした。このグループホームは、事業の目的と運営の方針を次のように掲げている。

『社会の中で、地域の中で認知症高齢者と共に「共同生活」をし、その日々の暮らしの中で治療手段としてではない「人と人との触れ合い」を通して生活様式の再編成を計り、その人らしい最後まで尊厳のある豊かで安らかな生活を送ることを目的とする』これは認知症である前に、人間として気持の通い、そして心の交流をしてお付き合いしようとする私たちの認知症ケアについての考え方に重なり合う部分が大いと考えた。これらの方針の中で、「その人らしく」と「尊厳」について、日常どんな考え方や手段で利用者に接し、職員間で気をつけてケアに当たっているのか3人の主要な人に聞いてみた。

利用者の「尊厳」について、日常行われているケアの中でどのような行動や考え方で利用者に接しているか、職員間でこの事について話し合う事があるか、という質問に対して3人の方が語った事を総合して次のようにまとめた。

利用者さんを自分の親と思う気持ちになって、人生の先輩として接すると可愛いと抱きしめなくなる。母親が子供を可愛いと愛情をこめて抱きしめるのと同じであるが、人生の先輩としての自尊心を傷つけないよう、例え認知症になっても一人の人間として接しなければならないと思っている。認知症の人に向き合っていると、知らず知らずのうちに自分の心の中に何か壁をつくってしまうことがある。そして一方的に自分の判断で相手の事を決めつけてしまう事がある。そのような気持ちを持たないようにするためには、先ず自分自身の心をオープンにして、自分の心の壁を取り外すことが必要である。それができるのが、自分たち介護職の心掛けであると思う。利用者が思う気持ちに共感し、喜怒哀楽の心を共有する。利用者の言動、気持ち、行動を、常に自分に置き換え、何故そのような行動をするのか、その原因を探る、「家に帰りたい」「恥ずかしい」「見せたくない」等、その人のプライドを損なうことに対しては、特にその人の気持ちになって、自然に声かけをしたり、共感の意を表したり、隠蔽してあげたり、身を隠したりして、利用者のプライバシーを大切に保護する心掛けが大切である。そして利用者との信頼関係を築くようにしている。利用者一人ひとりの違いを認め、習慣を尊重し、個性を生かしてあげることが必要である。これらによって利用者の居場所もできていく。職員はこのような先輩の気持ちや行動が鏡となり、自分の心を磨いていく。こんなことが自然に出来ているのが、このグループホームであるという結論に達した。

特に改善の余地があると思われる点

認知症ケアは、利用者の抱えている病気の状態や病気による人間機能の変化の予測等医療的な見解を参考にして、もう少し介護計画の中で、その人をどのような生活に対してケアをしていけば良いかの方針をたて、医療と介護が一体化した生活支援につながるようすることを考えてもらいたい。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 理念は開設当初からの物が掲示してある。職員は利用者が“その人らしく”生きられるようサポートを毎日自然にしている。</p> <p>2. 全体的に見て…: 職員のチームワークは良く、「利用者に対するケアやサービスについての考え方は、大枠で理念に掲げた内容に基本的には結びついている」と管理者は見ている。ホームを開設して8年も経ち、利用者もこのホームで落ち着いて穏やかな生活を送っているのは、それぞれの利用者が自分のペースを守って、一人ひとりなりのニーズを持って、しかも利用者同士でも仲良くしていけるのは、職員の一人ひとりのケアに対するレベルも高いのだと思う。誰がどうするというのを教えるのではなく、職員一人ひとりの人間としての資質と感性に任せているようだ。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: ホームは設計当初から2階建てで上下階に4人と5人の利用者が生活しているスタイルが組み込まれている。1ユニットのホームのあり方は何も変わるものではないが上下階には厨房設備もそれぞれ整っているので、個別の生活や食事作りも可能であるが、調理は1階の方で全部作って、職員が利用者と一緒に過ごせる時間を多くとれるようにしている。</p> <p>2. 全体的に見て…: 利用者は1階と2階の住人は決まっているので、階下の4人と階上の5人はそれぞれのリビングルームで過ごす時間は多く、利用者同士の仲間意識も濃い。時々利用者によっては上下階のリビングルームに行き来する人もいるようだ。職員は6人がローテーションを組んで勤務しており、勤務帯によって上下階の利用者と接する組み合わせが決まるが、その時間帯でも両階に行き来している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援	評価不能	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	評価不能	
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: ケアマネージメントについても成熟しているので、取り立てて改善することはない。</p> <p>2. 全体的に見て…: ケアプランの作り方や記録の内容については、このホーム独自の考え方で、日常の職員の仕事は利用者との関わりの時間をできるだけ多くとり、日常の業務の中に活かしたシステムになっている。特に、利用者の生活歴シート(ライフヒストリー)を大切に、日頃の会話からも新しく気付いた事は常に追加されていき、利用者とのコミュニケーションや生活の中に活かしている。生活毎の支援機能の維持、改良に活かされていると感じた。「ケアプランのもとにケアの仕事があり、プランと業務が連動していると思う」と管理者は評価し、「やりやすいものでなければ書かない」と職員の仕事振りに自信を持っていた。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 病院、老健施設、老人ホーム等大きな施設と一緒にグループホームが大きな敷地の中に共存していて、一つの山里のようになっているので、地域との交流や働きかけ等の活動はグループホーム単独では行えないので、評価不能としている。しかし、その中でも大型施設にない温かい雰囲気と一人の人間として行き届く細かいケアが可能で、それぞれのホームの自主性が重んじられている。</p> <p>2. 全体的に見て…: 家族と“悲しみや喜び”を共有できる。「おばあちゃんの顔を見ると、このホームに来て気持ちが落ち着く」「ホームの事を理解してなかったけど、お母さんの表情を見たら良くなった」という言葉からも理解できる。ターミナルになると、無給で職員が集まってくる。「あんたら楽しそうでええわ、私は楽しくなる。笑っている顔が何とも」家族・利用者・職員誰でも共通する気持ち、言葉であり印象的だった。</p>		